

令和4年度学校自己評価システムシート (県立新座高等学校)

目指す学校像	みんなの心が共に響きあう学校
--------	----------------

重点目標	人として信頼され、志を持った生徒を育成する 1 確かな学力を身につける学習システムの下、すべての生徒が学ぶ喜びを実感する《学力の向上》 2 一人一人の生徒に徹底的に寄り添い指導・支援し、多様な生徒の進路希望を実現する《自己実現の醸成》 3 地域社会と連携し、チームとしての学校力の向上を果たす 《開かれた学校づくり》
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	13名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標					年度評価 (1 月 1 0 日 現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	
1	<p>(現状)</p> <p>少人数指導やグループ学習を通じた個に応じた学びや ICT 機器やクラウドシステムを活用した学びが進み、主体的、対話的で深い学びへの指導の実践を行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>観点別評価を取り入れた学習指導と学習評価、さらには生徒指導が一体となり、授業規律の確立、また、個に応じた基礎学力の定着を通じた確かな学力の向上が求められる。</p>	<p>○生徒の基礎学力の定着と学力の向上を図る取組を進める。</p> <p>○個に応じた学習指導や生徒指導を通じた授業規律の確立を目指し、落ち着いた学習環境作りを行う。</p>	<p>①生徒個々に即した学習指導体制及び新教育課程、観点別評価を取り入れた学習指導、学習評価の検討を進める。</p> <p>②定期考査前の勉強会や数学コンテスト、各種検定試験への取り組みを通じた学習習慣の定着を進める。</p> <p>③生徒個々への丁寧な観察を通じたきめ細かい指導を実施する。また、SC、SSW と連携し教育相談的視点での生徒の育成を行う。</p> <p>④面談や各種アンケートを活用して、生徒の状況を把握し対応を行っていく。</p>	<p>①授業研究プロジェクト委員会や授業研究会の活動状況及び各教科、教育課程委員会での新教育課程、観点別評価の検討。</p> <p>②成績優良者・不振者数推移。また、検定試験等への取組。</p> <p>③遅刻・欠席数の推移や挨拶の励行等の状況及び SC、SSW 活用状況</p> <p>④面談の実施状況や各種アンケート等の調査結果。</p>	<p>◎生徒個々に対応した指導及び観点別評価を取り入れた学習評価を行い、基礎学力定着と授業規律の確立を図った結果、生徒の学校満足度が向上した。【概ね達成】</p> <p>○授業研究プロジェクト委員会及び教育課程委員会を定期的に開催し、生徒個々に対応した教授方法の確立及び観点別評価を取り入れた学習評価を実施した。</p> <p>○学習サポーターを効果的に活用した計画的な考査前勉強会などの指導を実施したが、成績優良者及び成績不振者数の改善には至らなかった。(2学期期末 優良者数：今年88名 昨年101名 不振者数：今年119名 昨年100名)</p> <p>○継続的な立哨指導や生徒指導部及び担任の粘り強い指導により、挨拶の意識付けや遅刻・欠席の減少に取り組んだが、改善には至らなかった。また、SC 及び SSW を計画的に活用し、生徒個々にアプローチする継続的な対応を実施した。</p> <p>○アンケートの学校満足度は、生徒 91.5%・保護者 88.6%で概ね良好であった。</p>	B
2	<p>(現状)</p> <p>授業や様々な学校行事を通して、生徒個々に対する寄り添う指導が丁寧でさらに確実に実施され、教職員と生徒との信頼関係は良好に保たれている。また、県教育委員会事業に基づく外部人材活用等によりキャリア教育を実施している。</p> <p>(課題)</p> <p>教職員と外部人材が一体となった教育活動が実践される中、より有機的な取組がなされ生徒の人的成長と共に更なるキャリア教育の推進が求められる。</p>	<p>○生徒自身の自己理解を深めさせ、キャリア教育として外部人材等の活用を行い、生徒の多様な進路希望実現を図り、生徒に寄り添う指導を行う。</p> <p>○学校行事等における生徒の様々な活動を通して、生徒個々の主体性の伸長や社会性の養成を行う。</p>	<p>①各種ガイダンスや面談、総合的な探究の時間等を活用し、自分自身を振り返る機会を設定する。</p> <p>②学習サポーター等による積極的な学習支援を行う。</p> <p>③通級支援による個別指導を必要としている生徒への対応を実施する。</p> <p>④部活動や生徒会活動および学校行事等を通じた体験活動の推進を図る。</p>	<p>①ガイダンス等の実施状況及び総合的な探究の時間における生徒の取組状況とキャリア教育指導の状況。</p> <p>②学習サポーターや支援員等の活用状況。</p> <p>③通級支援員による個別指導状況等の活用状況。</p> <p>④部活動加入状況や各種体験活動の内容と取組状況。</p>	<p>◎キャリア教育の計画的な実施及び総合的な探究の時間の有機的な取り組み、外部人材の有効な活用により、人的成長を推進することができた。【ほぼ達成】</p> <p>○教務、生徒指導、進路指導に係る各種ガイダンスについて予定通り実施し各取組状況は概ね良好であり、スムーズに学校生活に反映されている。総合的な探究の時間においては、委員会を中心に新たに3年間の計画を構築し各学年で実施された。キャリア教育においては、進路指導部を中心に中期的なビジョンを計画し進捗しつつあり、進学実績において成果をあげた。</p> <p>○学習サポーター(延べ約80日)及び多文化共生推進員(約30日)による生徒への個別指導により、通常授業時のサポートや定期考査に向けた支援を計画的に行うことができた。</p> <p>○通級支援員(約20日)を計画的に配置し、ソーシャルスキルトレーニングによる生徒への支援を行った。</p> <p>○部活動への加入状況は全体59%、運動部35%、文化部24%で、各種大会への参加も行き結果を残している部活動もあった。また、体育祭や文化祭について実施形態を工夫しながら実施することができ、生徒の体験活動を確保することができた。</p>	A
3	<p>(現状)</p> <p>定期的な学校説明会の実施や、近隣中学校への学校案内の配布や定期訪問、PTA・後援会との連携、ホームページやメール配信システムによる情報発信など、開かれた学校づくりを推進している。</p> <p>(課題)</p> <p>コロナ禍を踏まえた取組を継続するとともに、近隣地域をはじめ県内小中学校等との交流を図り、本校への理解をさらに進める必要がある。</p>	<p>○地域や小・中学校との連携、PTA・後援会との協力を積極的にすすめた学校づくりを行う。</p> <p>○ホームページ更新やメール配信システム、各種進路情報誌等の活用、学校説明会の実施、近隣中学校への情報発信など、様々な取組を通して、本校の理解度を高める。</p>	<p>①新座市との連携事業や、各種行事を通して、コロナ禍を踏まえた生徒会や部活動等における校外機関と連携した活動を行う。</p> <p>②ホームページ更新やメール配信システム等による、外部への発信を積極的に行う。</p>	<p>①コロナ禍を踏まえた校外機関と連携した取組の活動状況。講演会等の外部人材の活用状況。</p> <p>②ホームページ更新状況や学校説明会、近隣中学校への情報発信実施状況。</p>	<p>◎近隣小中学校との連携を推進したことや各種説明会、ホームページ更新、メール配信などにより、外部に対して効果的に広報することができた。【ほぼ達成】</p> <p>○近隣小学校ではダンス部の発表、中学校では生徒会及び有志による和太鼓の発表を行うなど、地域との連携を少しずつ進めることができた。また、保護者観覧を踏まえた体育祭、文化祭の実施、各種講演会では外部講師の派遣を依頼するなど、開かれた学校づくりを推進できた。</p> <p>○中学校訪問(年3回)、学校説明会(年5回)、外部進路相談会を企画・参加し、広報に努めた。また、ホームページ更新を継続的に行い、日誌等への書き込みだけで約100件、その他お知らせや中学生向けページなどを更新した。メール配信については、緊急連絡に限定し約30件の発信を行い、頻繁に情報発信することができた。</p>	A

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和5年2月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>学習に課題を抱えている生徒が多いようだが、授業に前向きに取り組んでおり、生き生きと学んでいる姿が見られた。また、学び合いがしっかりと行われ、質の高い授業が行われている。先生方の努力の賜物だろう。それらの事が生徒の満足度に繋がっている。</p> <p>学び方が変化している状況の中、成績優良者数や不振者数の増減は致し方ない。指導と評価の一体化が今後の課題であろう。</p> <p>生徒指導の考え方に対して非常に賛成である。生徒個々に対応しながら、社会的な規範意識の醸成だけではなく、このコロナ禍であることを考慮し、医療的アプローチも必要であろう。</p> <p>声を出しての挨拶ができない大人が増えてきている。その重要性を意識させるために、学校行事等の役割は非常に大きい。</p> <p>生徒一人一人を丁寧に見取り、当たり前の指導を実直に行い、子どもたちの学びと成長を保障している。先生方は生徒をしっかりと尊重し、丁寧に対応している。なかなかできることではない。</p> <p>労働と社会の仕組みについての見識を広げることが重要であり、自己理解を深め見識を広げ、進路選択の多様性を認識する事が課題である。</p> <p>大人が用意したもので学びが成り立っている側面もあるので、社会で生き抜くために、自主自立、集団での行動力の醸成も必要であろう。</p> <p>物事の善し悪しの判断や選択に迫られた時に、それを乗り越えるための人間力をこの年代で養って欲しい。</p>	
<p>ホームページやメール配信などの外部への情報発信等が充実した後は、校内の上下交流、つまり学年間の連携を充実させることで、後輩が憧れるような存在に、先輩にはなあって欲しい。</p> <p>生徒の様々な体験活動を、近隣小中学校の学び合いを通して推進して欲しい。</p>	